

5月23日(水) 本年度第42回(通算2634回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル

## 『新入会員卓話』

担当/プログラム委員会

### ☆お客様と来訪ロータリアン

### ☆メイクアップ

### ☆出席報告【会員総数65名 免除9名 出席計算に用いた会員数65名】

本日の出席者 35名 本日の出席率 54%

### ☆ニコニコ献金 (今年度累計 752,000円)

- ・新入会員のみなさん卓話お願いします
- ・新入会員、卓話頑張ってください
- ・28年経ちました。よろしくをお願いします
- ・まる3年経ちました。4年目突入です
- ・結婚記念日お花ありがとうございました
- ・家庭集会盛り上がりました
- ・店内改装します

能登信孝君、田中和紀君  
高橋 貢君  
小松亮次君  
迫田 武君  
丹葉一恵君  
野澤英明君  
中村祐昭君

### ☆会長挨拶 《能登会長》



皆さんこんにちは。春の遅い釧路にもようやく桜が満開になりました。北海道での7%の節電の話題がテレビ、新聞によく出ています。今までもこまめに電気を消すように心がけていますがさらに節電するにはどの様にしたら良いか苦慮しています。もしも計画停電になったら、ほとんどの仕事をコンピューターでしているので仕事が出来なくなります。この夏は計画停電にならないように節電に努力しましょう。

今日のプログラムは新入会員卓話とっております、新会員の卓話は会員の皆さんに自分を紹介する機会なので多めにPRをしてください、よろしくお願いします。

### ☆幹事報告 《田中幹事》



- ①. (社)北方領土復帰期成同盟 釧路地方支部 村井順一支部長より能登会長あてに、通常総会開催のご案内が届いております。
- ②. 釧路交響楽団のサマーコンサートののご案内が届いております。又、分区事業として7分区で取り組みました、釧路協力会の今年度会費の案内も届いております。  
前回協力頂いた方は個人名で、それぞれのパーソナルボックスに入れてあります。又、新たにこの協力会に賛同して頂ける方は、私の方まで御連絡下さい。
- ③. 新世代基金の支援をしております釧路吹奏楽団のスプリングコンサートが4月29日 無事終了しましたという報告が楽団より届いております。
- ④. 先程、アクトより御案内がありましたが、5月26日27日にR I 第2500地区 R A C地区大会がキャッスルホテルで開催されます。



野澤 英明君

皆さん、こんにちは、エスピーエムの野澤です。  
 私は、再入会で平成12年～平成19年6月迄7年間在籍し脱会しこの度、昨年11月再入会致しました。私の会社は全国全道に酪農機械販売を致しております。特に、ストレッチフィルムの販売は、年間5万本全国シェア約40%です。機械は90%ヨーロッパから仕入れており、年間仕入れ金額で約7億、フィルム約3億です。前回、RCを脱会したのは、当時、日本全国を騒がせした、牛の口蹄疫が充満し全国の酪農家の牛販売、移動が出来なくなり酪農家が苦境になった年でした。当然、我々業者も機械の販売が出来なく、いろいろなイベントが中止になり、我々メーカーも苦境に立たされた時期でした。その後宮崎県の、鳥インフルエンザが発生し、又、全国の農家がダブルで苦境に立たされ、本当に日本の農業が駄目になると警戒した年度で各農業関連会社は深刻な時期でして、17年～20年迄は各社軒並み売り上げがダウンし、人員削減、経費削減でしのいだ時期でした。この様な内容で本当申し訳なかったが脱会する事になった。しかし、神様は我々をみはなさなかった、口蹄疫、鳥インフルエンザが収まった、平成21年～外国為替が以上に円高になり、輸入販売する当社は為替恩恵を受け、現在に至っている。今後は、又旧仲間、新仲間とRCの中で楽しく触れ合って頑張りたいと精進しております。しかし、私も、形は若い姿しているが今年が63歳で、無理なイベントには着いていけないかも知れないので宜しくお願いいたします。



渡邊 享佳君

このたび入会しました明治安田生命の渡邊です。  
 卓話にあたり高尚なお話ができないものですから、私自身のことと、会社の内容についてお話をさせていただきたいと思います。

まず私の経歴から紹介からさせていただきます。生まれは埼玉の朝霞で、1987年（昭和62年）に入社し今年で25年になります。その間水戸→府中→銀座→長野→博多→葛飾→立川→福山と点々とし釧路が9箇所目の場所になります。埼玉育ちなので海の見える場所にあこがれており幸いにも海が近い場所に勤務させてもらっています。

それぞれちょっとした思いでございましたのでご披露させていただきます。茨城県の水戸では、あんこうの水揚で有名な那珂湊に住み、鹿島まで通勤しました。その当時はちょうどJリーグ発足に向けて準備をしている頃で、鹿島アントラーズにジーコが来るときでした。その後東京の府中に勤務。競馬場や刑務所、3億円事件のあった東芝府中などを担当していました。次に東京の銀座に勤務するにあたり、千葉の船橋に転居しました。そのときに前任の平田氏と同じ支社で勤務し、同じ社宅に住んでいました。（釧路でも平田氏の後に住んでいます）長野では善光寺の参道に程近い場所に住み心身の鍛錬にいそしみ、博多では屋台文化を満喫し、葛飾では「寅さん」の柴又や「こち亀」の亀有をエリアにもち、ボクシングの世界チャンピオンに内藤大助のジムが徒歩圏内にあり地元では盛り上がりました。直前の福山ではNHK朝ドラ「てっぺん」の舞台になった尾道も管轄し、商店街の人に混じっててっぺんの踊りの撮影に参加しました。また伯方の塩で有名な瀬戸内海の島々も担当してました。北海道は初めての勤務地ですので、人見知りな性格の私としてはドキドキしながら着任しましたが、釧路北ロータリーの皆様に本当によく声を掛けていただき、ホームシックにかかることもなく道東の生活を満喫している最中です。特に「もぐら会」の仲間にも加えてもらい毎週ロータリーの会合に参加するのが楽しみでなりません。

次に会社のことについて少しだけご報告と御礼を申し上げたいと思います。2011年度の決算において明治安田生命はおかげさまをもちまして、東日本大震災の支払いもほぼ終わることができ、保険料収入において過去最高を更新し5年連続の増収、2年連続の増益を達成し、逆ザヤも解消しました。これもひとえに皆様方のご支援のおかげと心から感謝申し上げます。ただ2011年度は銀行窓販による一時払い商品の販売が好調でしたが、今年からこれを抑制し、2012年度につきましては減収増益という非常に難しいミッションに取り組んでいますので、今年は新聞に「明治安田前年比大幅減収」という見出しが躍るかもしれません。しかしこれは10年先、20年先といった将来の運用リスクを考え資金集中を避けるもので、保険本来の保障型商品の販売に力を注ぎますので財務体質の健全性は逆に強化されると思います。是非ともご安心いただき変わらぬご愛顧を賜れば幸いです。

最後になりますが本日こうして私が皆様の前に立ってられるのも、前任の平田氏がロータリアンとして皆様との交流があってこそだと思いますので、私も1日も早くロータリークラブに慣れ、ロータリアンとして認められるよう日々精進したいと思っている次第です。今後ともご指導のほど何卒宜しくお願い申し上げ、私の卓話とさせていただきます。



日比 龍雄君

1978年4月1日当時の国土計画株式会社札幌プリンスホテルに入社、第2次オイルショックの時代で現在と同じ就職難だった記憶がございます。母親は料理は和食が主でなんでも自分で作る腕前の良さで、その影響もあって実は私は調理人になりたくてこのプリンスホテルに入りました。

ホテルは格式が高く、豪華な食事と華やかさ、そして使われている備品、演出にあこがれ、和食の調理人として試験を受けて合格をいたしました。さっそく2ヶ月間の新入社員教育に入りました。研修の最終に面接があり希望を告げると現場の調理人があふれていて、入る枠がない、1年我慢してほしい。調理は裏方なので表を知ってからでも遅くはないので1年間ホールを経験してから調理人としてがんばりましょう。と言うことで言われるがままでした。配属先は和食堂は女性だけの職場なのでどうせ配属するならホテルで1番華やかなところを希望。建物は12階、当時では高いビル、札幌市内では数の少ないメインダイニングでフランス料理専門レストラン「ピノ」とスカイラウンジ「シャトレヌ」という2セクションのスタッフでした。フランス料理は料理名をフランス名で注文し、ラウンジは「ススキノ」と同じで夕方5時～深夜2時までの営業、深夜1時過ぎからはホステスさんがお客さまをつれて来店満席。という20歳の私から見る世界は別世界でした。一度に利用する料金だって、当時初任給手取り10万円もないころ一度の利用金額が、10万～20万円は普通。そのうちいろいろなお客さま(顧客)から覚えられ、夜も遅くつらいときもありましたが、先輩にも恵まれ毎日が楽しい仕事でした。

1年がまもなく経とうとしたころ再び面談。私が目標としていた調理人の気持ちはどこへ。結局サービスマンとして表舞台でやってみないかと当時の支配人からも推薦されて、料飲サービス部門に配属になりました。20歳という社会のことも何も知らず、いかに自分は目標のない男なのかな。とも思っていましたがこの道でやってみようかと決意しました。

料飲部門専門で札幌プリンスホテルをベースで大沼、ニセコ、富良野、屈斜路とトップシーズンに応援に行き、札幌北広島プリンスホテルに1997年転勤、1999年釧路に転勤、2000年屈斜路に転勤し札幌に戻って料飲支配人を担当し三度道東に帰ってきました。

現在日本ホテルレストランサービス技能協会の北海道委員長を勤めさせていただいています。ホテルマンサービスで唯一の国家検定であり歴史の試験でございます。1級、2級、3級に別れ一次は学科試験と二次は実技試験があり年1回の受験になります。今は料飲から離れてホテル支配人をやっていますが、今後も北海道の特に道東のホテル、旅館観光の発展のために是非このサービス技能検定を受けていただき本人のサービス向上とスキルアップにチャレンジしていただきたいと思えます。



田野竜之介君

今日は、新入会員卓話との事で、時間を頂きありがとうございます。本日は、自分を少しでも知っていただくために自己紹介させていただきます。S54.4.24釧路で生まれ、男2人兄弟、親はもうその時一般住宅などを塗装する塗装業、「たの塗装工業」を自分が生まれたほぼ同時に立ちあげました。その時の従業員は2人だったと聞きます。釧路スポーツ幼稚園に入園してその時の園長さんからアイスホッケーをならい、スポーツの楽しさを学び、小中と夏はサッカー、冬はアイスホッケーと、勉強する間もなくスポーツ一本でした。高校では、両立するのがだめだったのでどちらかと言うと成績の良かったサッカーを選び今の武修館、昔の緑ヶ岡高校SP科を推薦で入学させて頂きました。高校生活は、色々とありましたが無事卒業できました。自営業だったので父親となかなか会話も無く話せばいつもけんかになり、そんな父親がきらいで仕事、存在すら受けつけなくなり高校在学中に一人暮を初めて、卒業後は、とび土木会社に入社しました。スポーツの世界で上下関係のきびしさ等を学んできたつもりでしたが社会はまたちがい、よくよく先輩達となぐり合のケンカなど傷がたえない日々をすごしてました。『中途半端にツっぱっていた時に北ロータリーで今ご一緒の、平井社長に出会いました。楽しく笑ったり時にはブチ切られたり悪い事も良い事も社会人第1歩は、平井社長から色々勉強させていただきました。』7年間とび業をこなし職長という立場にもなり充実の中突然自分の母親であるたの塗装工業先代の専務が急死し、この事がきっかけで東京で働いていた弟と自分と父親と向あう様になり、そして兄弟で会社に入社して父親をバックアップする様になりました。色々な人との出会いつながりもあり、外装の勉強をして、塗装とはちがうサイディング業を立あげそして今入社から8年ですが25名のメンバーをかかえ、自分や社長の願いでもありました全員通年雇用にし仕事もまずまず順調にこなせるようになりました。僕の大好きな人物で『成功はかならずしも約束されていないが努力は約束されている』サッカー全日本代表ザッケローニの言葉です。一歩一歩努力しこれからのためにも一生懸命がんばって行きたいと思えます。『千田さん、萩原さんに、ロータリーを楽しもう。例会は、まず出席だよとアドバイスもらい』今は本当にみな様せんばい方からかわいがってもらい楽しい日々です。ロータリーの中で自分に協力できる事はできるだけやります。人前で話す事もにがてでまだまだ勉強不足で色々な失敗もあるとおもいますが温く見守っていただきたいと思えます。しまらない話でありましたが、今日はご清聴ありがとうございました。